

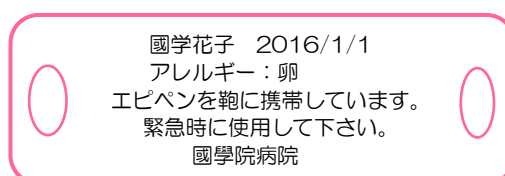
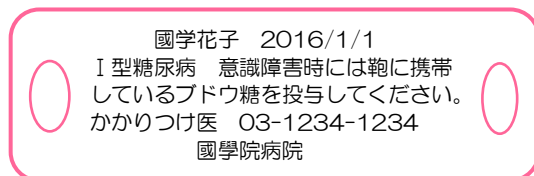
アレルギーや持病がある方の海外渡航

事前準備

- ★海外渡航中に受診する可能性を想定し主治医と相談のうえ、英文の診断書を書いてもらいましょう。
同行者に英文診断書の保管場所を知っておいてもらうか、預かってもらいましょう。
- ★病気などの情報を記載したメディカル ID を用意しましょう。
メディカル ID とは緊急時に適切な治療を受けるため、氏名・生年月日・緊急連絡先・使用中の薬などを記載したものです。英語で記載できるとなお良いです。
また、スマートフォンの機種によっては緊急時に誰でも見られるようなメディカル ID を設定しておくこともできます。

<メディカル ID の例>

※常に身に付けられるリストバンドタイプやカードタイプなど様々な形態があります。



アレルギーをお持ちの方

- ★食べ物がアレルギーの原因の場合には、食べないことが原則です。食べ物を買うときにはパッケージに書かれている原材料表示を見て、原因である食材が含まれていないか確認しましょう。
- ★海外の原材料表示は国によって異なります。自分が渡航する国の情報をきちんと集めましょう。また、飲食店などではお店の人に確認しましょう。

症状がでたときの対策

アレルギー症状を改善する薬を常時携帯することをお勧めします。どのような症状のとき、どの薬を使うか医師の指導を受けておいてください。

現病をお持ちの方

- ★海外渡航中に必要な分の薬を処方してもらいましょう。また、処方薬を持参する場合には、どのような病気・症状によりその医薬品を服用しているか説明できる文書を用意しましょう。
渡航先の国によっては、特定の文書の提示を求められること（英文による医師の診断書など）がありますので、事前に確認して準備することが必要です。
- ★薬を持ち込むときは、本来の容器に入れたまま、必要な分だけ持参しましょう。また、医薬品によっては持ち込む際に特別な手続きが必要なものもありますので、事前に渡航予定国の制度を確認しておきましょう。
- ★現地で受診する必要はないか確認しましょう。（紹介状が必要か予めご確認下さい）

症状がでたときの対策

てんかんや不整脈や糖尿病など、発作を起こすと意識を消失するような病気の場合には、発作時の対応などを引率者・ホストファミリー・教員・友人に伝えておきましょう。



< 参考 >

[海外渡航先への医薬品の携帯による持ち込み・持ち出しの手続きについて | 厚生労働省](#)

[FORTH | お役立ち情報 | ここに注意！海外渡航にあたって](#)

國學院大學保健室